

く地域の星となれ 輝 ***

で「地域ビジネス」を学ぶ

食では、県立氷上西高校

朝日新聞 令和元年11月2日 (土)

丹波八宿

青垣の秋」が

町佐治で、

宿場町だった

丹波市青垣

あす丹波の恒例行事で販売

3年生7人が、 地元和菓子 化中的原则 在人名特

3日に販売するお菓子 のポスターを持つ高校 生=丹波市青垣町佐治

300年の町家の見学など どん」などが味わえる。音 先に屋台が並び、「鯖寿」時まで開かれる。民家の軒 3日午前9時半から午後3 楽演奏や丹波布の展示、築 地区の名物だった「土田う 先に屋合が並び、 多彩な行事もある。 などの丹波の味覚や、

秋の恒例行事 の2種。 える自信作です」、山根都 み、さらに餅でくるんだ 煮込んだタピオカが抹茶に 餅を「秋の旬の風味が味わ 考えた。行明珠里さんは栗 ジ、ポスターなどを生徒が りをサツマイモあんで包 合います」とPRした。 美さんはプリンを「黒糖で た「タピオカ抹茶プリン」 を販売する。丹波栗のまわ 「栗餅」、タピオカを使っ 材料や、パッケー (前田智)

店と連携して開発した菓子